

第5学年1組

音楽科学習指導案

題材 様子を思い浮かべながら、よびかけるように歌おう

教材 ハロー・シャイニングブルー

○児童の実態

本学級の子どもは、歌うことが好きで、音楽の時間だけでなく朝の会や帰りの会でも進んで歌っている。その中で、もっと上手になりたい、友だちと心を合わせて歌いたいと思っている子が多い。そのために、姿勢や口の開け方、発声に目を向けている。また、自分は低いところが歌いやすい、高いところが歌いやすいなど、自分の声を意識し始めている。しかし、歌詞の内容や歌詞に含まれるメッセージを考えて表現の工夫をしようという意識は低い。また、表現を工夫するときに、強弱をつけたり、唱法を変えたりという経も少ない。

○題材 について

歌詞の内容を理解して言葉を大切に歌うこと。歌詞の中で気持ちを込めて歌う部分を合唱で表現して強弱や唱法を工夫して歌ったりすること。自分たちの表現の高まりを感じ、合唱活動に喜びを感じる子どもをめざし「ハロー・シャイニングブルー」を教材として本題材を設定した。

○教材について

教材分析

(1) 「ハロー・シャイニングブルー」の楽曲分析

曲想 歌詞に込められた自然の雄大さすばらしさを歌った歌曲

- 歌詞 ; 自分たちの身の回りにある自然のすばらしさを表現した歌詞
- 形式 ; 二部形式 A (a - a') - B (b - b')
- リズム ; 全体的に8分音符を中心にしたリズム
- 旋律 ; 第1フレーズ～第8フレーズ 前半山型順次進行
- 和声 ; 楽曲の前半16小節は斉唱で、後半は、2つのパートの旋律が離れて(1度3度6度)近づいく(4度3度)というようにふくらみ二部合唱になっている。
- 拍子 ; 4 / 4 拍子
- 調 ; ト長調
- 唱法 ; 前半にレガート唱、後半はアタック・マルカート唱
- 音色 ; 明るい声(よく響く)
- 強さ ; 前半分は m p 後半分は f
- 速さ ; ♩ = 100 ぐらい

(2) 「ハロー・シャイニングブルー」の教材解釈

歌 詞		楽 曲 の 構 成		
		和 声	演 奏 形 態	リズムと唱法
1 番	どこまでも続く 空 「口笛」「そっと」 「かすかに」 mp などでやさしく語りかけるように 「ハロー・シャイニングブルー 耳をすましたら」 から < > で表現できる。	楽曲の前半分は斉唱で、後半は、2部合唱から2つのパートが離れて（1度3度6度）近づいて（4度3度）というようにふくらみ2部合唱になり「すましたら、聞こえるメロディー」のところは掛け合いになっている。	第1段目 斉唱 第2段目 斉唱 第3段目 斉唱 第4段目 斉唱 第5段目 2部合唱 第6段目 かけあい 第7段目 2部合唱 4小節目 かけあい 第8段目 2部合唱	・弱起で始まる8分音符中心のリズム（流れるような感じの歌い方） ・2小節目跳躍リズム ・8分音符中心 4分音符と2分音符と8分音符（マルガートの的に力強い歌い方） 8分音符中心
2 番	コバルト色に輝く雄大な海	1番に同じ	1番に同じ	

(3) この教材で期待できること

歌詞には「自然からのメッセージ」が表されている曲で、前半16小節が斉唱、後半16小節が2部合唱の2部形式となっている。音の響き合いを味わいながら、特に曲想に応じた盛り上がりで、呼びかけるような歌い方を工夫していくことができる。全体に細かな強弱の措置が特にないため、児童が求める歌詞の内容を生かした表現を大切にすることができる。また、前半と後半のリズムや和声の違いから強さの工夫や唱法の工夫から、音の重なりを感じ取りながら表現の高まりを感じることができると考える。

○ 指導にあたって

- ・歌詞に込められた自然からのメッセージを捉えるために、「空が口笛吹き」「雲が手招きして」「そっと囁いている、誰かに伝えている」「かすかに揺れているよ、うなずいているように」など、歌詞の中の言葉に注目できるように拡大した歌詞に印や付箋紙に書き込んで伝えたい気持ちを書き込ませることで自信をもった表現ができると考える。
- ・楽譜を読んだり楽譜通りに演奏することが苦手な子ども達でも、正しい音程で副次的旋律を歌えるようにするために、パート別に自動伴奏装置を活用して練習できるようにすることで自信をもった表現ができると考える。
- ・副次的旋律を意欲的に歌えるようにするために、パート分けは、子どもたちの希望で行うようにし歌詞や二部合唱することで豊かな表現が期待できると考える。

- ・表現の高まりを感じ取れるようにするために、学習時間の終わりの歌声をテープに録音しておく。毎時間の声を比較することで表現の工夫と高まりを感じることができる。と考える。

○ 指導目標

(1) 「音楽に対する関心・意欲・態度」

○歌詞の気持ちを捉え、それに合う表現の工夫をしようとする。

(2) 「音楽的な感受や表現の工夫」

○身近な自然に対するの想いの深まりを、歌詞をもとに演奏形態や強さの変化などを工夫し、表情豊かに表現することができる。

(3) 「表現の技能」に関して

○歌詞の気持ちにふさわしい歌声や豊かな響きを感じ取って歌うことができる。

○ 指導計画

段階	時	学習活動 と 内容	教師の支援
つかむ	第1時 30分	<p>1. 本時学習のめあてを歌詞や情景からつかむ。</p> <p>(1) 「ハロー・シャイニングブルー」の歌詞を朗読し、作詞者のメッセージや情景を想像する。</p> <p>(2) めあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>「ハロー・シャイニングブルー」の歌詞の表す様子を思い浮かべて歌おう</p> </div> <p>2. 空や海に響くように「ハロー・シャイニングブルー」の主旋律を歌う。</p> <p>(1) 範唱CDに合わせて聴唱する。</p> <p>(2) ピアノ伴奏合わせて歌詞唱をする。</p> <p>3. 本時のまとめをし、次時学習の内容を話し合う。</p>	<p>○プロジェクターを使い雄大な空や海の映像を見せ、空や海の広がりなどが感じとれるようにする。</p> <p>○「ハロー・シャイニングブルー」の歌詞を朗読し、イメージをつかませる。</p> <p>○範唱CDに合わせて歌詞唱をせる。</p> <p>○正しい音程で歌えるように、音程の取りにくい部分はピアノで音を確認しながら歌わせる。</p> <p>○発音や声の出し方や音符の長さに気を付けて歌えるように、拡大楽譜やノートに印をつけるように声掛けをする。</p> <p>○範唱CDに合わせて副次的旋律をピアノで弾き副次的旋律のイメージがもてるようにしておく。</p>

第2時 30分	1. 本時学習のめあてをつかむ。	
	2. 「ハロー・シャイニングブルー」の副次的旋律を二部合唱やかけ合いで歌う。 (1) 副次的旋律を聴き, 歌う。 (2) ピアノ伴奏合わせて歌詞唱をする。	<p>呼びかける気持ちが伝わるように「ハロー・シャイニングブルー」の後半部分を二部合唱でもり上げよう。</p> <p>○フレーズが2拍目から始まる場所と3拍目に始まる場所と場所の違いに目を向け歌えるようにする。</p> <p>○正しい音程で歌えるように, 音程の取りにくい部分はピアノで音を確認しながら歌わせる。</p> <p>○音の重なりを感じるための観点を提示し意識付けさせる。</p> <p>○音の重なり心地よさを味わわせるために, 部分的に取り出してリコーダーで吹かせる。</p> <p>○歌っている様子をVTRに撮影し, 学習の成果が分かるようにする。</p>
第3時	3. 「ハロー・シャイニングブルー」の主旋律と副次的旋律を合わせて歌う。	
	4. 本時のまとめをし, 次時学習の内容を話し合う。 ○2部合唱で歌詞や情景に合うような歌い方を工夫すること。	
第3時 味わう	1. 本時学習のめあてをつかむ。 (1) 前時学習を想起する。 ・1番はどこまでも続く空 ・2番はコバルト色に輝く雄大な海 (2) めあてを確認する。	<p>○前時の映像のパネルを見せ, 雄大な空や海の広がりやなどを想起させるようにする。</p> <p>・空や海に呼びかけて歌ったこと</p>
	2. グループごとに, 遠い海や空に響かせるような歌い方を工夫する。 (1) 拡大楽譜で, 副次的旋律を確認し歌えるようにするために青色で囲み, その再生に合わせて小グループごとに練習する。	<p>歌詞の内容に合うようにグループで表現の工夫をして歌おう</p> <p>○8~9人のチーム(学習班)に分かれて練習できるように, 4つのブースを作っておく。</p> <p>○一番気持ちを込めて歌いたいところを話し合わせ, その部分から歌い方の工夫をするように助言する。</p> <p>・「ハロー……」と空や海に呼びかけているところを遠くに呼びかけ, 響く声で歌える</p>

	<p>(2)表現の工夫をし，二部合唱する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空と海に向かって語りかけている前半と歌い上げている後半の歌詞の違いを生かして歌い方を強弱と唱法の面から工夫する。 <p>3. 本時のまとめをし，次時学習の内容を話合う。 クラスのみんなで二部合唱をする。</p>	<p>ように。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かけ合いになっているところ，「空が（海が）よんでいる」と呼びかけているところでは，呼びかけたり答えたりしているように聞こえるような工夫を助言する。 ・「みんな（いつも）なかま」という大切な言葉は，大切に丁寧にさらに語りかけるように。 <p>○友だちの歌声を聴き合いながら，学習を進めるように言葉掛けをする。</p> <p>○クラスを半分に分け，お互いに聞き分けながら副次的旋律を歌唱できるようにし，その後全員で歌唱する。</p> <p>○副次的旋律を正しく歌唱できているか確認できるように，ピアノ伴奏と主旋律の部分を自動伴奏を再生した物に合わせて歌唱する。</p> <p>○また，このときの様子もVTRに記録しておく。</p>
<p>第4時</p> <p>本時</p>	<p>1. 本時学習のめあてをつかむ。</p> <p>(1)前時学習を想起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌い方の工夫をしたこと。 <p>(2)めあてをつかむ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>グループで工夫したことを生かして5の1の「ハロー・シャイニングブルー」を歌い上げよう。</p> </div> <p>2. グループごとに工夫を生かして歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雲や海，空に呼びかけるように歌いたい。 ・遠くに響かせて歌いたい ・「ハロー・・・」と呼びかけるところやかけ合いになっているところを強くして歌いたい。 <p>3. グループごとの工夫を生</p>	<p>○曲の構成を生かして歌唱表現を工夫し，遠くに響かせて歌おうと発生や呼吸・発音の仕方などに気を付けて歌っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表情・・・頬や口の開け方 ・歌唱表現・・・言葉の出し方 ・学習ノート <p>○友だちの声も聴き，二部合唱の良さを感じ</p>


	<p>かして二部合唱を味わう。</p> <p>(1)グループごとの練り上げた表現を発表する。</p> <p>(2)それぞれのグループの工夫を生かして「ハロー・シャイニングブルー」を全体で歌い表現を味わう。</p> <p>○全体合唱</p> <p>4. 本時のまとめをする。</p> <p>○二部合唱のよさ</p> <p>○今日の学習でを書く</p>	<p>取りながら歌えるように助言する。</p> <p>○クラスで歌うことにより豊かな響きの二部合唱が表現できることを知らせる。</p> <p>○表現が豊になって、気持ちがいいことを知らせる。</p> <p>○今後も、歌詞のないようや情景を思い浮かべながら、豊かな響きで歌い合えるように助言しビデオに記録する。</p>
--	--	--

本時の目標

様子を思いうかべながら、呼びかけるように歌うために、前時に各グループで工夫した歌い方を生かして、合唱することができる。曲想表現の工夫をして楽しく意欲的に二部合唱に取り組み、自分たちの表現の高まりを感じることができる。

準備 縦書きの拡大歌詞 各声部の旋律や伴奏を録音したMD・FD（各4）
再生機各4台

展開

学 習 活 動 と 内 容	支 援
<p>1. 本時学習のめあてをつかむ。</p> <p>(1)前時学習を想起する。</p> <p>(2)めあてを確認する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>グループで工夫したことを生かして5の1の「ハロー・シャイニングブルー」を歌い上げよう。</p> </div>	<p>○始業前からグループごとに、前時工夫したことを確認しておくようにする。</p>
<p>2. グループで工夫したことを発表する。</p> <p>○グループ毎に工夫したところや一番気持ち伝えたいところを発表させる。</p>  <p>・二部合唱では、音が正しくとれること</p>	<p>○友だちの声をよく聴き、和声の響きに気を付けて歌っている子どもを賞賛する。</p> <p>○他声部の声につられがちな子には、音程の確かな子の横に立たせたり、教師が横に付いて歌ったりする。</p> <p>○表現を工夫して、遠くに響かせて歌おうと発声や呼吸・発音の仕方などに気を付けて歌っている子を賞賛する。</p> <p>○できていない子には、のどを開け</p>

- ・かけ合いでは、呼びかけたり応えたりしているのが伝わるように強弱をつける。
- ・みんな仲間さを気持ちを含めて歌うので、fで丁寧に歌う。
- ・ハロー・シャイニングは、雄大な青い空や海を思い浮かべてfで歌う。

3. グループごとの工夫を生かして「ハロー・シャイニングブルー」を全体で歌う。

(1) 歌い方の工夫について話し合う

(2) 全員で合唱する。

4. 本時のまとめをする。

(1) 第1時に歌った斉唱と本時の表現と聞き比べ、自分たちの表現の高まりについて話し合う。

(2) 今日の学習でを書く

ることや息をしっかりと吸うことなどを指導する。

○各グループごとに工夫したいことや困っていることなどを聞いていき、解決のためのアドバイスを行うようにする。

○4つのグループの工夫の共通点を確認し、拡大楽譜に記入する。

○クラス全体で歌うことにより豊かな響きの二部合唱が表現できたことを賞賛する。

○表現の高まりとしてビデオに記録しておく。

○歌詞の内容に合う歌い方を工夫することができるようになったことを賞賛する。